

2020年11月2日～1日

安倍改憲、菅防災自助、「大阪都構想」否決

安倍前首相、墓前に退陣報告 改憲「野党の言い訳通じぬ」

時事通信 2020年11月01日 18時15分



首相辞任後初めて父晋太郎元外相の墓参り

をする安倍晋三前首相（手前）＝1日午後、山口県長門市

安倍晋三前首相は1日、昭恵夫人とともに山口県長門市を訪れ、父・晋太郎元外相が眠る安倍家の墓参りをした。地元入りは昨年夏以来で退陣後初めて。安倍氏は記者団に「7年8カ月、首相の職責を果たすために全力を尽くし、今回辞職した」と墓前に報告したことを明らかにした。

在任中に実現できなかった憲法改正については「野党は安倍政権の間は（協力）しないと聞いていたが、菅政権では言い訳はもう通用しない」と述べ、国会での論議の進展を求めた。

墓参り後、安倍氏は集まった支持者に、持病で一時悪化した体調に関し「いま使っている薬がよく効き、非常に早いスピードで回復している」と説明。街頭演説にも臨み、「一議員として菅義偉首相を支えながら、地域の振興のためにも尽くしたい」と強調した。

安倍前首相「憲法改正しない言い訳通用しない」 野党をけん制

毎日新聞 2020年11月1日 18時26分(最終更新 11月1日 18時26分)



安倍晋太郎元外相らの墓前で手を合わせる

安倍晋三前首相＝山口県長門市で11月1日午後2時45分ごろ、遠藤修平撮影

自民党の安倍晋三前首相は1日、山口県長門市で記者団に「安倍政権の間は憲法改正はしないと野党は言っていたが、今は菅政権だからその言い訳は通用しない」と述べ、憲法改正を巡り野党をけん制した。

8月に体調不良で辞任表明した安倍氏は「非常に速いスピードで回復をしている」と、健在ぶりを強調した。一方で、今後の政治活動について「全党的な支援もいただけてきたので、しばらくは一議員として活動を再開することに専念したい」と述べ、出身派閥である細田派への復帰は明言しなかった。

これに先立ち安倍氏は、妻の昭恵氏とともに長門市にある父・晋太郎元外相の墓参りをした。2012年の第2次安倍内閣発足以降、毎年夏に地元入りしていたが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で見送っていた。3日まで滞在し、山口県庁や支援者を回る予定。【遠藤修平】

安倍氏、父の墓前で「全力尽くした」 退任後初の帰郷

日経新聞 2020/11/1 19:00

安倍晋三前首相は1日、9月の首相退任後に初めて地元の山口県長門市に帰郷し、父・晋太郎元外相の墓参りをした。記者団に「『首相の職責を果たすことに7年8カ月全力を尽くし辞職した』と報告した」と語った。

出身派閥の細田派への復帰について「首相の職を辞したばかりで全党的な支援もいただけてきた。しばらくは一議員として活動を再開することに専念したい」と話した。

憲法改正に関して「野党は『安倍政権の間は憲法改正しない』と言っていた。その言い訳はもう通用しない」と述べた。

安倍前首相 憲法改正「もう言い訳は通用しない」 野党を牽制
産経新聞 2020.11.1 18:52

安倍晋三前首相は1日、憲法改正について「安倍政権の間は憲法改正しないと野党は言っていたわけだが、今は菅義偉政権なので、その言い訳はもう通用しない」と述べ、議論に消極的な立憲民主党などを牽制した。山口県長門市で、首相を辞任後初めて父・晋太郎元外相の墓参りをした後、記者団に答えた。

安倍氏は「憲法について議論すべきだというのが国民の民意だろうと思う。それに応えていくのが国会議員の職責で、憲法の議論こそ国会議員が自分の見識を示す機会となる。機運を高めていくために私も努力していきたい」と語った。

また、自らの出身派閥である細田派（清和政策研究会）への復帰については「しばらくは一議員として活動を再開することに専念したい」と述べるにとどめた。

安倍氏の地元入りは昨年8月以来、約1年2カ月ぶり。約50人の地元支持者が出迎える中、昭恵夫人とともに墓前で手を合わせた。墓参後は「首相の職責を果たすために全力を尽くし、今回、辞職したことを報告をした。今後は一議員として地域の発展のためにも尽くしていきたい」とも語った。

安倍氏は支持者に「体調による辞職で心配をかけたが、使っている薬がよく効いて、体調も回復している」と述べた。

安倍前首相 憲法改正議論を前へ みずから努力尽くす考え

NHK 2020年11月1日 16時33分



安倍前総理大臣は、退任後初めて地元の山口県に入り、憲法改正をめぐる『安倍政権の間は改正しない』という野党の言い訳は、もう通用しないと指摘し、議論を前に進めるために、みずからも努力を尽くす考えを示しました。



安倍前総理大臣は1日、退任後初めて地元の山口県に入り、長門市にある父親の安倍晋太郎元外務大臣の墓参りをしました。このあと、安倍氏は、記者団に対し、「7年8か月、総理大臣の職に全力を尽くしたことや、今後は一議員として地域の発展のためにも尽くしていくことを報告した」と述べました。

今後の政治活動に関連して、安倍氏は「野党は、『安倍政権の間は憲法改正はしない』と言っていた。そもそもおかしい理論だが、今は、もう菅政権なので、その言い訳も通用しない」と指摘しました。

そのうえで「憲法について議論すべきだというのが多くの国民の民意であり、これに答えていくのが国会議員の職責ではないか。そういう機運を高めていくために私も努力していきたい」と述べました。

首相、防災訓練を視察 「自助・共助・公助が重要」

日経新聞 2020/11/1 16:30

菅義偉首相は1日、埼玉県川口市で開いた首都圏9都県市の合同防災訓練を視察した。閉会式で「災害に打ち勝つためには自助、共助、公助の組み合わせが重要だ」と述べた。「国民の生命、財産を守るため災害対策に万全を期す」と語った。



合同防災訓練の閉会式であいさつする菅

首相（1日、埼玉県川口市）＝共同

首相は会場で新型コロナウイルスの感染を防ぐため間仕切りを設置した避難所や救出訓練を視察した。訓練は東京都や千葉県など9都県市の合同で、震度6強の地震が発生した想定で実施した。

【点描・永田町】「前例」の可否めぐる“ご都合主義”

時事通信 2020年11月01日19時00分



記者団の取材に応じる菅義偉首相＝10月16日、首相

官邸



菅義偉首相の初舞台となる臨時国会がきょう（26日）召集され、政権発足40日での国会論戦がスタートする。初の所信表明演説を受けた各党代表質問で与野党攻防の火ぶたを切るが、その中でキーワードとなるのが「前例」だ。首相が政権運営の重要な指針として「悪しき前例主義の打破」を掲げているからだ。政治的に大炎上している日本学術会議会員の任命拒否問題でも、首相はその理由に「前例をそのまま踏襲するのがいいのか」と語っている。確かに、官僚機構では「前例重視」が横行し、縦割り行政にもつながってきた。首相はそこに切り込み、政治家や官僚に意識改革を迫ることを「菅流政治の神髄」（側近）と位置付ける。

首相は就任1カ月となった16日、記者団に「やるべきことを

スピード感を持って実行していく」と語り、携帯電話料金値下げ、デジタル庁創設、不妊治療の保険適用のいわゆる“三大菅案件”の早期実現に強い意欲を示した。いずれも、前例や縦割り行政を飛び越える改革だが、こうした「国民に分かりやすい改革」（自民幹部）の実現に突き進む姿勢が、高い内閣支持率の要因になっている。

ただ、学術会議任命拒否問題での「前例無視」には、当事者だけでなく国民的批判が渦巻く。任命拒否された6人の学者が、いずれも安倍晋三・前政権が成立させた新安保法制や特定秘密保護法などの反対論者だったため、「学問の自由への政治介入」との批判が噴出しているからだ。首相は「総合的、俯瞰的な判断」と繰り返し、16日の梶田隆章・学術会議会長との会談でも、任命拒否の理由は説明しなかった。しかも首相は推薦された会員名簿を「見ていない」と発言したため、事前調整したとされる事務方トップの杉田和博官房副長官が“主犯”視され、立憲民主など主要野党は杉田氏の国会招致を強く求める事態となっている。

主要野党の要求に対し、自民党の森山裕国対委員長は「あまり前例がない」と拒否する構え。確かに、事務官房副長官の国会招致は特殊なケース以外は実現していない。主要野党は「悪しき前例の典型」（共産党）と反発するが、政府は「国会運営には口を出せない」と開き直る。任命拒否問題はネット上でも大炎上し、撤回を求める“ツイッターデモ”に書き込みが殺到したが、首相は撤回拒否を明言し、「人事についての説明は差し控える」との逃げ一点張りだ。

◇故中曽根氏葬儀では「前例尊重」

頑なな首相の対応については、自民党内でも疑問の声が上がる。先の総裁選で惨敗した石破茂元幹事長は「任命拒否の具体的説明が必要」とし、村上誠一郎・元行革担当相は「言語道断、学問への畏敬の念がなさ過ぎる」と酷評する。その一方で、保守派議員からは学術会議の独善性を批判する声が噴出し、党機関で学術会議解体も含めた組織見直しに着手するなど、党内の意見対立も際立つ。首相の強権的対応への批判の強さから、各種世論調査でも就任時歴代3位の高率だった内閣支持率が低下した。しかし、首相の強い意向を受けて河野太郎行政・規制改革担当相や平井卓也デジタル担当相が推し進める「脱ハンコ」や「デジタル化」は多くの国民が歓迎しており、「菅政治」への評価も分断状態だ。

そうした中、17日に都内のホテルで举行された故中曽根康弘元首相の内閣・自民党合同葬に絡めて、文部科学省が国立大学などに弔意表明を求める通知を出したことも「教育現場への政治介入」との反発を生んだ。政府は「前例に従っただけ」と説明するが「これこそ悪しき前例で、まさにご都合主義」（自民長老）との指摘も多く、今後も「前例の可否」が首相の政権運営の火種になりそうだ【政治ジャーナリスト・泉 宏／「地方行政」10月26日号より】。

「力不足」と松井氏 自民、阻止できて安堵—大阪都構想

時事通信 2020年11月02日01時15分



住民投票の結果を受け、記者会見に臨む松井

一郎大阪市長（左から2人目）と吉村洋文大阪府知事（左端）＝1日夜、大阪市北区



地域政党「大阪維新の会」が推進してきた「大阪都構想」の住民投票は、再び反対多数となった。市内のホテルで記者会見した松井一郎代表（大阪市長）は「これだけ大きな問題提起ができたことは政治家冥利（みょうり）に尽きる。敗因は僕の力不足だ」と吹っ切れた様子で語った。

松井氏は、2023年の市長の任期満了をもって政界を引退することも表明。「やることをやった。全く後悔はないしこれ以上できない。心が晴れている気持ちだ」と笑顔を見せた。

ただ、共に会見した吉村洋文代表代行（大阪府知事）は「僕自身の力不足だ。反対派の方が熱量が強かった」と、堅い表情を崩さないまま。今回賛成に回った公明党の佐藤茂樹府本部代表も「短時間で隔々まで支持者に理解させることができなかった」と淡々と述べるのみだった。

一方、都構想に反対した自民党大阪府連、大塚高司会長は「大阪市廃止を阻止できたことに本当に安堵（あんど）している」と述べた。党市議団の北野妙子幹事長は笑みを浮かべ、「住民サービスが低下するから住民投票があると言い続けてきたことが浸透した」と勝因を語った。

共産党の山中智子市議も市内で会見し、「百害あって一利無し」の制度が通るはずがないと確信していた」と感極まった様子で話した。立憲民主党の辻元清美大阪府連共同代表は「対立と分断から対話と協調のまちづくりへと転換を図っていくべきだ」とのコメントを発表した。

都構想、反対多数 住民投票、大阪市は存続—松井氏、任期満了で引退

時事通信 2020年11月02日01時22分



住民投票結果を受け、記者会見する松井一郎大阪市長（右）と吉村洋文大阪府知事＝1日夜、大阪市北区

大阪市を廃止して四つの特別区に再編する「大阪都構想」の是非を問う2度目の住民投票が1日投票され、反対票が賛成票を僅差で上回った。政令市である大阪市が存続する。都構想を進めてきた日本維新の会の松井一郎代表（大阪市長）は記者会見で、「政治家としてのけじめをつけなければならない」と述べ、2023年4月の市長の任期満了で政界を引退すると表明した。

当日有権者数は220万5730人で、投票率は62.35%。15年に行われた前回は4.48ポイント下回った。

大阪都構想は、維新が掲げ続けてきた最重要政策で、松井氏や吉村洋文大阪府知事は今回の投票を「ラストチャンス」と位置付けていた。2度目の反対多数を受け、吉村氏は「都構想再挑戦を僕がやることはない」と述べた。10年に及んだ都構想論議は終

息する。

維新は次期衆院選に向け抜本的な戦略見直しを迫られそうだ。吉村氏は自身の進退については「（23年4月までの）任期は全うしたい。最終的にどうするかは任期満了前に判断したい」と述べるにとどめた。

大阪都構想 再び否決 住民投票、僅差で市存続

2020/11/2 01:05 (JST) 11/2 01:06 (JST) updated 共同通信社



「大阪都構想」の住民投票が否決され、記者会見する大

阪維新の会代表の松井一郎市長＝1日午後11時1分、大阪市

大阪市を廃止し4特別区に再編する「大阪都構想」の住民投票が1日実施され、僅差で反対が賛成を上回り否決となった。政令指定都市として存続する。否決は2015年の住民投票に続いて2度目で、都構想を推進してきた日本維新の会代表の松井一郎市長は23年春までの任期を全うした上で政界を引退する意向を表明した。維新にとって大きな打撃となる。

吉村洋文大阪府知事は「否決という判断を尊重したい。僕自身が都構想に挑戦することはもうない」と述べた。松井氏は日本維新や地元組織の大阪維新の会の代表を退く時期について「国政政党と大阪維新は分けて考えたい」と述べた。



「大阪都構想」の住民投票が再び否決され、記

者会見で手を取り合う自民党の北野妙子市議団幹事長（中央）ら＝1日午後11時43分、大阪市



大阪市役所（手前中央）と市街地＝1日午後0時13

分（共同通信社へりから）

無党派層6割が反対 住民投票、男女で賛否割れる—大阪都構想

時事通信 2020年11月01日22時15分

主な政党支持層の賛否



(時事通信調べ)



1日に投開票が行われた「大阪都構想」の住民投票で、時事通信が実施した出口調査によると、全体の3割半ばを占めた「支持政党なし」の無党派層は61%が「反対」、39%が「賛成」にそれぞれ投じた。性別ごとに見ると、男性で58%が賛成、女性で59%が反対した。

支持政党別では、都構想を掲げる日本維新の会の支持層は9割超が賛成。しかし、今回推進派に転じた公明党の支持層のうち賛成したのは3割後半にとどまった。都構想を批判していた共産党の支持層のほとんどは反対票を投じたのに対し、自民党は4割以上が賛成に流れた。

賛成と答えた人に理由を聞くと「二重行政が解消されるから」が最も多く、「大阪が発展するから」「維新を評価しているから」が続いた。反対は「大阪市がなくなるから」との回答が最多で、2番目以下は「メリットが分からないから」「住民サービスが低下するから」だった。

年代別はほとんどの層で拮抗（きっこう）。18、19歳を含めた20代以下は反対、30～50代は賛成がやや多かった。60代と70代以上は反対が上回った。

出口調査は大阪市内の20投票所で実施。投票を終えた男性540人、女性532人の計1072人から回答を得た。

【詳報】1万7千票差、再びNO 松井氏「私の力不足」 大阪都構想

朝日新聞デジタル 2020年11月2日 1時31分

【都構想タイムライン】

大阪市を廃止し、四つの特別区に再編する「大阪都構想」の是非を問う住民投票が1日あり、反対多数で市の存続が決まった。有権者は日本国籍を持つ市内に住む18歳以上の約223万人で、投票は午後8時まで。開票作業は午後9時から市内24カ所で行われた。この日の動きを、時系列のタイムラインで追った。午後7時50分から「2020 選択 #ぶっちゃけ都構想 FINAL」と題したライブ動画を配信しました。朝日新聞記者が開票結果の分析や国政への影響を解説したほか、維新の松井一郎代表の会見なども収録しています。ぜひご覧ください。

【ライブ動画】 アプリをご使用の場合はこちらから

1:10

開票結果が確定

大阪都構想の住民投票の開票結果が確定した。約1万7千票の僅差（きんさ）で反対多数となった。

賛成 675,829、◎反対 692,996（確定）

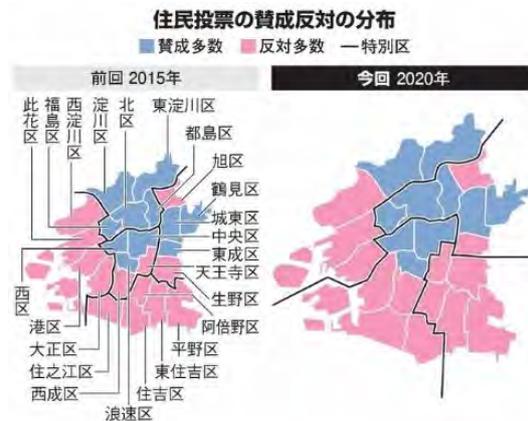


投票率62.35% 確定結果。無効票は除く 大阪都構想の是非を問う住民投票の確定結果

1:07

大阪商工会議所の尾崎会頭「ノーサイド」

大阪商工会議所の尾崎裕会頭は、大阪都構想の住民投票結果を受けてコメントを発表した。「現在の体制の下で、大阪の成長・発展を追求すべきという市民の判断が下された。しかし、現在の制度に課題がないというわけではなく、都構想の議論をもとに、大阪の未来のために必要な改革は実行していかなければならない」とし、「コロナの制圧と経済回復、大阪・関西万博の準備など時間的な制約のなかで対応が必要な課題も多くあり、賛成派・反対派もノーサイドの精神で知恵を出し合い、課題解決をめざさなければならない」と指摘した。



住民投票の賛

成反対の分布

0:52

吉村氏がツイッターに投稿

応援して頂いた全ての皆様、心からありがとうございます。皆様の支えがあってここまでやれました。自分の力を出し切りましたが、結果は及ばずでした。全ては僕の力不足です。申し訳ありませんでした。また、悩んで反対に投じた方も多くおられたと思います。全ての大阪市民の皆様にご感謝申し上げます。

- 吉村洋文 (大阪府知事) (@hiroyoshimura) November 1, 2020

「自分の力を出し切りましたが、結果は及ばずでした。全ては僕の力不足です。申し訳ありませんでした。また、悩んで反対に投じた方も多くおられたと思います。全ての大阪市民の皆様にご感謝申し上げます」などとつぶやいた。

0:30

松井氏がツイッターに投稿

皆さん、本当にありがとうございました。感謝感謝感謝です。

- 松井一郎(大阪市長) (@gogoichiro) November 1, 2020

「皆さん、本当にありがとうございました。感謝感謝感謝です」とつぶやいた。

23:40

開票率98%の結果

賛成 667, 283、◎反対 678, 813 (全市・開票率 98%)

23:10

れいわ・山本代表「多くの市民が気づき、動いた」

反対多数が確実に became ことを受け、れいわ新選組の山本太郎代表は取材に対し、「大阪で 10 年間にわたって進められてきた新自由主義的な社会実験のなかで、大阪市を廃止し、分割することでとどめを刺すのが都構想だった。私たちにできることは都構想に賛成を求める側の説明不足を補うことだけだった。有権者のなかには政治にあきらめがあった人もいたと思う。でも、取り返しのつかない事態になることに多くの市民が気づき、動いた。それが勝因だ」と語った。



都構想反対を訴えるれいわ新選組の山本太郎代表=大阪市東住吉区

23:05

公明「党としても厳粛に受け止める」

公明府本部の佐藤茂樹代表は維新との共同会見で「党としても厳粛に受け止める。結果を踏まえ、さらに大阪がどうすれば発展するかを検討する。大事なのはしこりを残さないこと。それぞれの意見をしっかり聞いて、全体として発展していくように頑張っていく」と述べた。

「維新に尻尾振るなんて」 都構想、反発した公明支持層
公明賛成「なんで急に」 学会員ら 50 人から聞いた本音

23:01

関西経済同友会・古市代表幹事がコメント

1 日の大阪都構想の住民投票で反対多数が確実に became ことを受けて関西経済同友会の古市健代表幹事はコメントを出し、「自治体の在り方を住民自身が選択した点で今回の住民投票は大きな意味を持つ。従来の延長ではなく、住民投票プロセスにおける議論や住民の声を踏まえ、真摯(しんし)に修正すべきは修正して行政の質を高め、住民の暮らしが更に豊かになるようサービス向上に努めてほしい」と要望。「将来の大阪の成長戦略を明確に描くことが重要となる。大阪府と大阪市が住民目線に立って緊密に連携し合い、大阪の経済を発展させ、『世界の中の大阪』としてのプレゼンスが高まることを期待する」とした。

23:00

反対多数が確実に 松井氏「けじめつけねば」

大阪市を廃止して四つの特別区に再編する大阪都構想の是非を問う住民投票が 1 日行われ、僅差(きんさ)での反対多数が確実に became となった。前回 2015 年に続く否決。大阪維新の会代表の松井一郎市長は 23 年 4 月の任期満了で政界を引退すると表明した。当日有権者数は 220 万 5730 人、投票率は前回は 4・48 ポイント下回る 62・35%だった。

松井氏は 1 日夜に記者会見し「けじめをつけなければならない」と政界を引退する考えを示した。吉村洋文代表代行(府知事)は「僕が都構想に挑戦することはない」と述べた。維新は党のリーダーと看板政策の都構想を同時に失った。

松井氏は菅義偉首相との関係が良好で、代表を務める国政政党・日本維新の会は政権に協力的な姿勢もとってきた。今回の結果が国政にも影響を及ぼす可能性がある。

住民投票では、人口約 270 万人の大阪市を約 60 万~75 万人の四つの特別区に再編する制度案への賛否が問われた。大阪市が持つ都市開発やインフラ整備などの権限を大阪府に一元化し、特別区は教育や子育て支援など身近な住民サービスにあたる構想。今回の否決で都構想は廃案となり、大阪市は存続する。

反対派の自民党と共産党などは、特別区の財政収支見通しに新型コロナウイルスの経済への影響が反映されていないことなどを問題視。特別区が収支不足に陥り、住民サービスが低下する恐れがあるとして、政令指定市としての大阪市の存続を訴えた。賛成派の維新と公明党は、府と市の権限が重なり合う「二重行政」の解消が経済成長につながり、特別区への再編で住民サービスも充実できると訴えてきた。

都構想の是非を問う住民投票は 2 度目。前回は反対 70 万 5585 票、賛成 69 万 4844 票の約 1 万票の僅差で否決され、当時の維新代表で大阪市長だった橋下徹氏が政界を引退した。前回と異なり、公明党が賛成に転じて山口那津男代表が大阪入りして維新と街頭演説に立つなどテコ入れを図ったが、改めての否決となった。

【10 年の軌跡】橋下氏が突如表明した都構想 反対多数、松井氏は引退へ



大阪都構想住民投票の結果を受け会見する大阪維新の会の松井一郎代表(右)と吉村洋文代表代行=2020年11月1日午後11時8分、大阪市北区、柴田悠貴撮影

23:00

松井代表、任期満了後の政界引退を表明

維新の松井代表が北区のホテルで記者会見。冒頭、「二度目の敗北。私の力不足。民意を受け止めて大阪市の発展に全力を尽くしたい。賛成反対、それぞれ悩みに悩むような問題提起ができたことは政治家冥利(みょうり)に尽きます」と述べた。記者の質問に答え、大阪市長の任期満了後に政界を引退すると表明した。



会見する大阪維新の会の松井一郎代表と吉村洋文代表代行、公明党の佐藤茂樹大阪府本部代表=2020年11月1日午後11時19分、大阪市北区、井手さゆり撮影

22:51

関西連・松本会長「長年の懸案、ひとまず決着」

関西経済連合会の松本正義会長は 1 日、大阪都構想の住民投票で反対多数が確実に became ことを受け、「長年の懸案についてひとまず決着をみたが、これまで大阪府・市が進めてきた二重行

政の解消、大阪の成長戦略については、今後もしっかりと取り組んでいただくよう期待する」とし、「2025年大阪・関西万博の準備については、これまでどおり府市一体となって全力を挙げさせていただきたい」とのコメントを出した。

22:50

歓喜の REAL OSAKA

連合大阪やNPOなどでつくる団体「REAL OSAKA」。テレビ中継で反対多数確実の速報が流れると、大阪市北区の事務所はスタッフらが歓喜の声を上げた。代表の田中誠太・前大阪府八尾市長は顔を紅潮させ、「皆さんの取り組みが市民に届いた」と述べた後、「市民の分断はよくない。(賛否で) 遺恨が残らないように、ふるさと・大阪の発展のためにがんばりましょう」と話した。



反対多数確実の速報が流れ、大阪都構想

に反対する連合大阪などでつくる団体「REAL OSAKA」のスタッフは万歳して喜んだ=1日午後10時52分、大阪市北区

22:50

立憲民主・枝野代表「一度同じ結果が出たにもかかわらず…」

立憲民主党の枝野幸男代表は1日、大阪都構想の是非を問う住民投票で反対多数が確実となったことを受け、「大阪の市民のみなさんの選択は大変重い。一度同じ結果が出たにもかかわらず、コロナ禍に、こうした(住民投票という)手続きを踏んだことに対しては厳しい指摘をせざるをえない。住民のみなさんの意思を重く受け止める」とコメントした。

22:42

反対多数が確実に

大阪都構想の是非を問う住民投票が開票され、反対多数で大阪市の存続決定

22:41

開票率73%の状況

賛成495,469、反対508,342(全市・開票率73%)

22:40

港区が確定

港区(確定)賛成18,491、反対24,527

22:30

開票率56%現在の賛成・反対の票数

賛成386,797、反対378,430(全市・開票率56%)

22:20

浪速区が確定

浪速区(確定)賛成13,294、反対12,435

22:10

開票率19%現在の賛成・反対の票数

賛成132,794、反対122,935(全市・開票率19%)

21:20

投票率は62.35%、前回66.83%を下回る

大阪都構想の是非を問う住民投票で、大阪市選管は投票率(確定)を発表した。62.35%と前回66.83%を下回った。当日有権者数は220万5730人。

21:00

開票始まる

大阪都構想の是非を問う住民投票が1日に行われ、同日午後9時から市内24カ所で開票作業が始まった。同日中に結果が出る見通し。賛成多数になれば、大阪市は廃止され、四つの特別区に再編される。特別区の設置は2025年1月1日。

20:30

自民・北野市議団幹事長「生きた心地がしない」

都構想への反対を訴えてきた自民党大阪市議団の北野妙子幹事長は1日午後8時半ごろ、民放のネット番組に出演し、「生きた心地がしない」と開票結果を待つ心境を語った。「(運動が)始まった当初は気力を失うくらい(賛成との)差があった。ここまで五分五分の所まで来ることができた。いい戦いができたのではないか」と振り返った。

20:00

投票終了

20:00 投票終了。

20:00

賛成・反対ほぼ並ぶ 朝日新聞出口調査

1日に行われた大阪都構想の賛否をめぐる住民投票について、朝日新聞社は同日、投票を済ませた有権者を対象に出口調査を実施した。激しい競り合いを反映し、賛否はほぼ並んでいる。

5年前の前回住民投票では、僅差で反対多数となった。前回と比べて変わったのは公明支持層と無党派層だった。公明支持層の賛成が前回の2割程度から今回は5割近くに増える一方で、無党派層の反対は5割台から6割台に増えた。

都構想に賛成している日本維新の会の支持層は賛成が90%。前回の維新の会支持層の97%に比べ、やや減った。

前回は反対したが、今回は賛成に回った公明党の支持層は賛成46%(前回21%)、反対54%(同79%)。賛成は増えたものの、反対を超えなかった。

一方、都構想に反対している自民党の支持層の賛成は37%(同42%)、反対は63%(同58%)だった。立憲民主支持層、共産支持層はともに反対がほぼ9割だった。

無党派層は今回は賛成が39%(同48%)で、反対が61%(同52%)だった。前回は反対が賛成を上回ったが、今回はその差を広げた。



大阪都構想

住民投票・出口調査の年代別結果

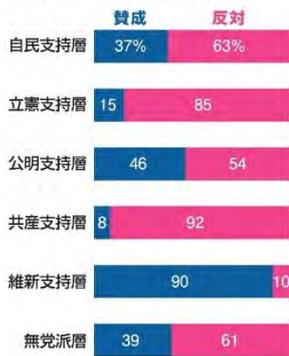
男女別に見ると、前回と同様、今回も女性の方が男性より反対する人が多かった。

年代別では、20~50代は賛成が、60代以上では反対が、それぞれ5割を超えた。70歳以上では反対が61%にのぼった。

調査は大阪市内60カ所の投票所で実施した。有効回答は2948

人だった。

大阪都構想 支持政党別の賛否



大阪都構想 支持政党別の賛否

午後7時現在の投票率、前回より5ポイント低く

大阪都構想の是非を問う住民投票で、大阪市選管は午後7時現在の投票率を発表した。40.34%と前回45.41%よりも5.07ポイント下回っている。当日有権者数は220万5730人。

18:00

れいわ・山本太郎代表「投票に行かないのはリスク」

れいわ新選組の山本太郎代表は午後6時ごろ、大阪市東住吉区のUR団地の一角で「投票に行かないのはリスクでしかない。大阪市のオーナーはあなたたち市民だ。あと2時間しかないが、1票でも反対が上回るためにここに来ました。力を貸してほしい」と訴えた。

いら立つ山本太郎氏 発言力低下?だから「連携」の声も

午後5時現在の投票率、前回は依然下回る

大阪都構想の是非を問う住民投票で、大阪市選管は午後5時現在の投票率を発表した。34.47%と前回38.81%よりも4.34ポイント下回っている。当日有権者数は220万5730人。



マイクが並べられるなど準備が進む

自民党大阪府連本部の会場=2020年11月1日午後5時7分、大阪市中央区、白井伸洋撮影

15:45

立憲民主・尾辻衆院議員「公園で遊んだ後は投票に」

都構想に反対する立憲民主党の尾辻かな子衆院議員は、地元・東住吉区内の公園の入り口で演説。子どもと公園に来ている親らに向け、「政令指定市だから、子どもたちに住民サービスが拡充できている」と特別区移行への懸念を強調した。投票の締め切りがあと4時間あまりに迫ったことにも触れ、「最後のお願いです。1票でも賛成が上回れば大阪市はなくなってしまいます。公園で遊んだら投票に行ってください」と訴えた。



公園の入り口や周りで都構想への反対を

訴える立憲民主党の尾辻かな子衆院議員=大阪市東住吉区

午後3時現在の投票率は28.33%

大阪都構想の是非を問う住民投票で、大阪市選管は午後3時現在の投票率を発表した。28.33%と前回32.48%よりも4.15ポイント下回っている。当日有権者数は220万5730人。

14:30

「賛成に入れたが不安」聴衆の声に松井氏は

大阪都構想を推進する大阪維新の会の松井一郎代表(大阪市長)は午後2時すぎ、大阪市天王寺区の天王寺公園前で、期間中最後となる街頭演説に立ち、聴衆との質疑応答にも応じた。

聴衆の男性が「賛成に入れたが、(政令指定市ではない特別区になっても)住民サービスは本当に下がらないのか」と不安を口にすると、松井氏は「住民サービスは政令指定市だからできるのではない。財源があるからできる」と理解を求めた。

松井氏は夕方にかけて、苦戦が伝えられる市内の複数の区を車で回り、ぎりぎりまで賛成を呼びかけるという。



大阪維新の会の松井一郎代表の街頭演説に集まった多くの聴衆=2020年11月1日午後2時30分、大阪市天王寺区、笹川翔平撮影

12:00

維新が街頭演説 「都構想が大阪の力発揮する」

大阪都構想を推進する大阪維新の会は正午過ぎ、大阪市中央区の南海難波駅前前で吉村洋文代表代行(大阪府知事)と松井一郎代表(大阪市長)がそろって街頭演説した。

難波駅前には維新が節目で演説を行う定番の場所。吉村氏は「都構想に賛成の1票をお願いします。大阪市と大阪府はどうしても二重行政になってしまう。絶対に都構想にした方が大阪の力を発揮できる」。松井氏は「次の世代の未来を作るのが大阪都構想。二度とバラバラにならない仕組みを作って次の世代に引き継ぐ」と訴えた。



投票日をむかえ、大阪都構想への支持を呼びかける大阪維新の会の吉村洋文代表代行=2020年11月1日午後0時3分、大阪市中央区、西岡臣撮影

正午時点の投票率は16.42%

大阪都構想の是非を問う住民投票をめぐる、大阪市選管は正午現在の投票率を発表。16.42%と前回20.41%よりも3.99ポイント下回っている。

11:10

「大阪市なくすな」共産がプラカード

都構想に反対の共産党は朝から、市民団体とともに各投票所前で「大阪市なくすな」などと書かれたプラカードを掲げた。東淀川区の投票所前に立った40代の女性は、小学生を含む3人の子育て中。「共働きで子どもが学童保育を利用しているが、特別

区になって財源が減ったら真っ先に削られるのではないかと不安」と話した。

投票所近くでは、長岡ゆりこ市議が「大阪市がなくなって特別区になれば職員も増え、経費が増える。いま提供できている子育て支援や医療費助成といった住民サービスにあてる予算も少なくなっていく。これは市民のみなさんにとって大問題」と訴えた。



投票所前で「大阪市なくすな」と書か

れたプラカードを持つ市民団体の男性=2020年11月1日午前11時8分、大阪市東淀川区、森下裕介撮影

11:00

公明党の国会議員らが賛成呼びかけ

午前11時、公明府本部代表代行の山本香苗参院議員と幹事長の土岐恭生市議が、大阪市鶴見区のスーパー前に集まった約40人の支持者らに、「一人でも多くのご賛同を」と賛成を呼びかけた。

土岐市議は「前回の案と全然違うものになった。公明党の都構想になった」と強調。山本参院議員は「市民のみなさんの力を引き出す、新しい仕組みが必要。関西、日本経済を引っ張っていく大阪をみなさんと一緒に作りたい」と訴えた。

公明は夕方まで府本部所属の国会議員らを中心に市内各地の街頭で活動し、電話やSNSでも賛成を訴える。

公明賛成「なんで急に」 学会員ら50人から聞いた本音



「一人でも多くのご賛同を」と訴える、公

明党の山本香苗参院議員（左から2人目）と土岐恭生市議（同3人目）=2020年11月1日午前11時10分、大阪市鶴見区横堤3丁目、多鹿ちなみ撮影

10:50

REAL OSAKA「市廃止、本当にいいのか」

大阪都構想に反対する連合大阪などでつくる政治団体「REAL OSAKA」では、この日朝からスタッフが大阪市内の事務所で街頭活動のコースをチェック。車3台を住宅街を中心に走らせ、有権者に「投票に行こう」と呼びかけた。4人1組のスタッフも「都構想にNO」と記したTシャツ姿で回った。

団体は市の廃止・分割は市民にメリットがないと9月末に結成。コロナ禍の中、SNSによる情報発信も力を入れた。事務局次長の樋口伸介さん（52）は「本当に市を廃止していいのか。大切な1票をぜひ投じて」と話す。



連合大阪などでつくる団体「REAL OSAKA」。

スタッフが午後から回る街頭活動のコースをチェックしていた =1日午前10時58分、大阪市北区

10:30

自民党市議らがデメリット訴え

都構想に反対する自民党は朝から各地で活動をスタート。大阪府住吉区では午前10時半から、自民党府連の所属議員ら6人が2班に分かれて練り歩き、住宅街や投票所付近で都構想のデメリットを訴えた。

党府連幹事長の多賀谷俊史・大阪市議は「大阪市廃止にNO!」と大きく書かれたのぼりを掲げ、「大阪市を廃止することは必ず住民サービスの低下を招く」「皆さんの1票が皆さん生活を、大阪市を守ることになる」などとマイクで呼びかけた。



都構想反対を訴えながら歩く自民党

大阪府連幹事長の多賀谷俊史・大阪市議（左）=2020年11月1日午前11時20分、大阪市住吉区、本多由佳撮影

9:00

投ヒョウ号が発進

午前9時ごろ、大阪市民に投票を呼びかけるヒョウ柄の電気自動車「行こう！投ヒョウ号」が大阪市役所から出発。計8台が市内4カ所から次々と練り出した。

投票の「票」と動物の「ヒョウ」を掛けたもので、1人乗りの電気自動車の車体にヒョウの写真をラッピング。市から委託を受けた宣伝カーの製作会社が、9月末から2週間ほどで完成させた。「とにかく目立つように」と市側から要望があり、細部まで打ち合わせを重ねたという。

夕方まで2台1組で、約120カ所の投票所周辺を走り回る。



投票を呼びかけるため、大阪市役所

を出る市選管の車=2020年11月1日午前9時8分、大阪市役所、西岡臣撮影



【ライブ動画】「2020 選択 #ぶっ

ちやけ都構想FINAL」 最新の情報をお伝えしていきます。



「維新に尻尾振るなんて」 都構想、反発した公明支持層
朝日新聞デジタル 笹川翔平 河合達郎、太田成美 2020年11月1



投票日をむかえ、大阪都構想への支持を呼びかける大阪維新の会の松井一郎代表（左）と吉村洋文代表代行=2020年11月1日午後0時29分、大阪市中央区、西岡臣撮影

大阪府と大阪市の歩み

1889年	合併施行で大阪市が誕生。特別区知事制が創設される。
98年	特別区で大阪府に市長選挙。
1925年	合併で人口211万人を突破。東京市を抜いて日本一。
32年	大阪府が府政を始める（村岡山政）を以て始める。
33年	市営地下鉄新線（梅田〜心斎橋間）が開通。
37年	市営地下鉄新線（新大塚〜市立中央）が開通。
45年	大阪大空襲、終戦。
53年	財団法人（財）を一体化する。大阪府政を一元化して改選。
55年	市営地下鉄新線（市立中央〜新大塚）が開通。
56年	府政改革で府政がスタート。大阪府が誕生。
70年	大阪万博開催。
84年	関西国際空港開港。
2000年	大府合併。知事選「大阪都構想」提唱。
01年	大阪五輪の招致失敗。
03年	大阪府民サービス「大阪府民サービス」創設。
10年	大阪維新の会結成。維新の会知事（大阪都構想）提唱。
11年	橋下武生が大阪市長に就任。
12年	都構想の予備調査を実施。大阪府民サービス創設。
15年	都構想の賛否を問う住民投票。反対70万5863票、賛成69万4844票の差で（8人割）で否決。橋下武生が辞任。
18年	2020年の大阪府民サービスの創設。
19年4月	知事選で橋下武生が再選。大阪都構想を提唱。吉村洋文知事、松井一郎市長に就任。
6月	大阪府で14-19X2020の創設。
2020年10月12日	2020年の住民投票告示。
11月1日	投票日。

YES! 都構想



地域政党「大阪維新の会」が結党以来10年にわたって掲げ続けた大阪都構想の実現に向け、2度目の住民投票に打って出たが、連敗に終わった。公明党を賛成に転じさせることには成功したが、公明支持層の動きは鈍かった。特別区の財政見直しや住民サービスの行方に対する市民の不安も払拭（ふっしょく）しきれなかった。

都構想の賛否ほぼ互角、公明支持層も反対多く 出口調査

「今回は、公明党さんに多大なるご支援をいただいたが、すべて私の力不足だった」。維新代表の松井一郎市長は1日午後11時ごろから大阪市内で開いた記者会見でこう述べた。左隣には公明府本部代表の佐藤茂樹衆院議員が座っていた。

公明は前回2015年の住民投票で反対したが、今回は賛成に転じた。昨春の府知事・市長のダブル選で、維新が2度目の住民投票実施を掲げて圧勝したことを受けてのことだった。背景には、維新が公明の現職議員がいる関西の衆院6選挙区への候補者擁

立を何度もちらつかせた経緯がある。

しかし、過去の選挙戦で維新幹部らが公明を激しく批判したこともあり、支持層の反発は根強かった。学会関係者には厳しい意見が相次いだ。「賛成というの分かるが維新が嫌いだ」「負ければ辞めると松井市長が言っている。つぶしたい」「裏切り者」公明賛成「なんで急に」 学会員ら50人から聞いた本音

10月下旬、市内の区民センター…
残り：2193文字／全文：2703文字



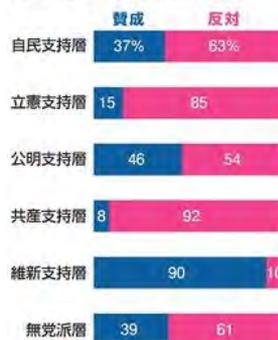
第7回都構想の賛否ほぼ互角、公明支持層も反対多く 出口調査

朝日新聞デジタル 2020年11月1日 20時43分



街頭演説に集まる聴衆=2020年11月1日午後0時4分、大阪市中央区、柴田悠貴撮影

大阪都構想 支持政党別の賛否



今回の住民投票も5年前の前回住民投票と同様、反対がわずかな差で賛成を上回った。朝日新聞社が投票当日の1日に実施した出口調査によると、公明支持層の賛成が前回の2割程度から今回は5割近くに増えたものの、無党派層の反対が5割台から6割台に増えた。

都構想に賛成している日本維新の会の支持層は賛成が90%。前回の維新の会支持層の97%に比べると、勢いに欠けた。

前回は反対したが、今回は賛成に回った公明党の支持層は賛成46%（前回21%）、反対54%（同79%）。賛成はかなり増えたものの、反対の方が多かった。

一方、都構想に反対している自民党の支持層の賛成は37%（同42%）、反対は63%（同58%）だった。立憲民主支持層、共産支持層はともに反対が9割前後を占めた。

無党派層は今回は賛成が39%（同48%）で、反対が61%（同52%）。前回は反対が賛成を上回ったが、今回はその差を広げた。

男女別に見ると、前回と同様、今回も女性の方が男性より反対する人が多かった。年代別では、20～50代は賛成が、60代以上では反対が、それぞれ5割を超えた。70歳以上では反対が61%にのぼった。

調査では、賛否の理由について「行政の無駄減らしの面」「大阪の経済成長の面」「住民サービスの面」「維新の政策だから」の四つから選んでもらった（前回の4番目の選択肢は「橋下市長の政策だから」）。

賛成に投票した人が挙げた理由で最も多かったのは「経済成長」の37%で、「無駄減らし」の36%がほぼ並んだ。選択肢の文言が異なるので単純に比較できないが、前回は「無駄減らし」が41%で、「経済成長」の31%が続いた。

反対の理由としては「住民サービス」が41%と最多で、次が「経済成長」18%だった。前回は「住民サービス」36%、「橋下市長の政策」26%の順だった。

吉村知事を「支持する」と答えた人の67%が賛成した。前回、橋下市長を「支持する」と答えた人は89%が賛成した。

調査は大阪市内60カ所の投票所で、投票を済ませた有権者を対象に実施した。有効回答は2948人だった。

大阪都構想、反対多数 大阪市存続へ

朝日新聞デジタル 2020年11月1日 22時45分



大阪市役所=大阪市北区

大阪市を廃止して四つの特別区に再編する大阪都構想の是非を問う住民投票が1日行われ、約1万7千票の僅差（きんさ）で反対多数となった。前回2015年に続く否決だ。大阪維新の会代表の松井一郎市長は23年4月の任期満了で政界を引退すると表明した。当日有権者数は220万5730人、投票率は前回は4・48ポイント下回る62・35%だった。

松井氏は1日夜に記者会見し「はじめをつけなければならない」と政界を引退する考えを示した。吉村洋文代表代行（府知事）は「僕が都構想に挑戦することはない」と述べた。維新は党のリーダーと看板政策の都構想を同時に失った。

松井氏は菅義偉首相との関係が良好で、代表を務める国政政党・日本維新の会は政権に協力的な姿勢もとってきた。今回の結果が国政にも影響を及ぼす可能性がある。

住民投票では、人口約270万人の大阪市を約60万～75万人の四つの特別区に再編する制度案への賛否が問われた。大阪市が持つ都市開発やインフラ整備などの権限を大阪府に一元化し、特別区は教育や子育て支援など身近な住民サービスにあたる構想。今回の否決で都構想は廃案となり、大阪市は存続する。

反対派の自民党と共産党などは、特別区の財政収支見通しに新型コロナウイルスの経済への影響が反映されていないことなどを問題視。特別区が収支不足に陥り、住民サービスが低下する恐れがあるとして、政令指定市としての大阪市の存続を訴えた。賛成派の維新と公明党は、府と市の権限が重なり合う「二重行政」の解消が経済成長につながり、特別区への再編で住民サービスも充実できると訴えてきた。

都構想の是非を問う住民投票は2度目。前回は反対70万5585票、賛成69万4844票の約1万票の僅差で否決され、当時の維

新代表で大阪市長だった橋下徹氏が政界を引退した。前回と異なり、公明党が賛成に転じて山口那津男代表が大阪入りして維新と街頭演説に立つなどテコ入れを図ったが、改めての否決となった。

前回は1万票差で否決 都構想、130年の歴史変わるか

朝日新聞デジタル 2020年11月1日 16時09分



投票を呼びかけるため、大阪市役所を

出る市選管の車=2020年11月1日午前9時8分、大阪市役所、西岡臣撮影



大阪市を廃止して四つの特別区に再編する大阪都構想の是非を問う住民投票が1日朝、始まった。約1万票の僅差（きんさ）で否決となった2015年に続く2度目の選択となる。特別区の設置による「二重行政」の解消か、130年以上続く大阪市の維持となるか。大阪市民の審判は果たして。

住民投票では、人口約270万人の大阪市を約60万～75万人の四つの特別区に再編する制度案への賛否が問われた。大阪市が持つ都市開発やインフラ整備などの権限を大阪府に一元化し、特別区は教育や子育て支援など身近な住民サービスにあたる構想だ。東京都と23特別区のような関係をモデルとした。

可決の場合、2025年1月1日に特別区が設置され、50日以内に新しい区長と区議を選ぶ選挙が実施される。名称は大阪府のまま「大阪都」に変えるには、法律の改正か新法を制定する必要がある。府と市は特別区設置時の初期コストに約241億円、その後維持費として毎年約30億円の費用がかかるの見積もる。否決の場合は都構想案は廃案となり、政令指定市の大阪市が存続する。

賛成派の大阪維新の会と公明党は、府と市の権限が重なり合う「二重行政」の解消が経済成長につながり、特別区への再編で住民サービスも充実できると主張してきた。反対派の自民党と共産党などは、特別区の財政が収支不足に陥り、住民サービスが低下する恐れがあると訴えてきた。

都構想の是非を問う住民投票は2度目。前回は反対70万5585票、賛成69万4844票の約1万票差で否決され、当時の維新代表で大阪市長だった橋下徹氏が政界を引退した。

前回は維新以外の主要政党が一致して反対したが、今回は府議会でも市議会でも自民党並みの議席を持つ公明党が賛成に転じた。昨春の大阪府知事・大阪市長のダブル選挙で維新が大勝したためだった。自民党も大阪府連としては反対方針だったが、一部の府議が賛成を明言していた。

維新「否決なら首相はジョーカー失う」 大阪都構想、政権影響



1日に投開票が行われる大阪都構想の是非を問う住民投票は、結果次第で菅義偉（すが・よしひで）首相の政権運営にも影響を及ぼしそうだ。都構想を主導する日本維新の会は首相と親密な関係にある一方、与党は連立を組む自民党と公明党で賛否が分かれているためだ。仮に否決されれば、首相と維新、公明党による「菅トライアングル」が崩れる恐れもある。

首相は10月30日の参院本会議で維新の片山虎之助共同代表から都構想について問われ、「二重行政の解消と住民自治の拡大・拡充を図ろうとする大都市制度の大きな改革だ」と述べた。

平成27年の前回住民投票ではわずかに1万741票差で否決され、橋下徹大阪市長が政界引退。今回否決された場合、維新の松井一郎代表（現大阪市長）が政界引退を表明している。首相は都構想への賛否を明言していないが、「引退させたくない気持ちが強い」（首相周辺）とされる。

維新以外の全政党が反対した前回と異なり、今回は公明党が賛成に回ったが、報道各社の情勢調査では賛否が拮抗（きっこう）している。

賛成に回った公明党は、国政で自民党と連立政権を組むが、大阪府政では維新との関係を重視する。10月18日には山口那津男代表が大阪入りした。党重鎮は「山口氏が現地で直接、賛成を呼びかけた効果は相当大きい」と太鼓判を押す。

こうした公明党の離反に自民党大阪府連からは恨み節も漏れる。府連幹部は「都構想が通ったら公明党現職の選挙区に候補者を立てる」と息巻く。

国政選挙での集票力で影響力を持つ公明党と、与党と野党の間際の「ゆ党」として首相を陰に陽に支える維新は首相の求心力の源泉であり、政権運営の切り札だ。関係者によると、首相は公明党の支持母体である創価学会との太いパイプを生かし、学会幹部を通じて支持者に都構想への理解を呼び掛けているという。

維新幹部は「維新と公明党というジョーカーを持つのが首相の武器。否決なら、首相は大事なジョーカーを一気に2枚失うということや」と語った。（千田恒弥）

大阪維新が敗北、盟友の松井代表は政界引退へ 菅首相が二階幹事長に屈する日 「大阪都構想」否決

〈週刊朝日〉11/1(日) 22:54 配信

審判が下った瞬間、落胆の声やすすり泣きが一斉に響き渡った。大阪市を廃止し、特別区を設置するか、否かを問う「大阪都構想」の住民投票が11月1日に実施されたが、反対多数となり、否決された。

大阪都構想は大阪維新の会の創立者で元大阪市長の橋下徹氏が提唱。前回の2015年に続き、2度目の挑戦だったが、維新の悲願は市民の手によって阻まれた。会見した大阪維新の会の松井一郎代表は敗北を認め、「大阪市民の判断を受け止める。2度目の敗北は僕の力不足です」とし、かねて公言していたとおり、「今回の任期を終えたら政界を引退する」と明言した。

同じく会見した大阪維新の会の吉村洋文代表代行も「大阪市民の民意を受け止めます。僕自身が大阪都構想に再チャレンジすることはない」と硬い表情で語った。

全国的にみると「大阪の住民投票」と永田町や霞が関は冷やかに傍観していた。その中で唯一、固唾をのんで情勢を見守ったのは、菅義偉首相だった。「菅首相ひとりだけが大阪都構想の動静を気にしていた」（自民党ベテラン議員）

大阪維新の会、日本維新の会代表である松井大阪市長と太いパイプを持つ菅首相。「松井さんが自民党の大阪府議時代から菅さんと親しかったと聞いた。2人は携帯で直にやり取りするツーカーの仲。菅さんが官房長官時代から松井さんと一緒に安倍前首相と橋下氏と食事会をするなど蜜月をアピールしていた。維新と関係が悪い自民党の大阪府連はじめ、二階幹事長も大阪都構想にはもともと反対。だが、菅さんが維新ひいきだからみな、関わりたくないのが本音だった」（近畿の自民党国会議員）

そのため、自民党の大物議員が応援に入ることもなく、大阪では大阪都構想に反対を唱える自民党の大阪市議団らが孤軍奮闘した。「大阪都構想が告示されて以降、菅首相はつらそうだった。自民党の大阪府連が反対している手前、大っぴらに維新を応援するワケにもいかない。国会答弁でも無関心を装ったが、側近の議員や官僚にこっそり、大阪都構想の賛否に関する世論調査の情報を入手していた。しかし、側近が動けば、菅首相の維新ひいきはバレバレだった」（自民党幹部）

そして孤軍奮闘する自民党府連に「敵の敵は味方」という援軍がやってきた。立憲民主党の枝野幸男代表、同党副代表の辻元清美衆議院議員、れいわ新選組の山本太郎代表らも大阪入りし、反対を次々と訴えた。投開票日前日の10月31日、大阪・梅田には若者がギッシリ集まった。ハロウィーンではなく、れいわ新選組の山本代表の演説を聞く聴衆だった。「維新がいう大阪の成長を止めるな。数字みたら大阪の成長、維新が知事、市長をとってから全国レベルでは止まったまま、いや下がっている」こう山本氏が訴えると大きな拍手があがった。

一方の吉村氏は同日、必死でこう訴えていた。「前回、2015年は若者の支持が多かったが、投票率が伸びなかった。ぜひ、賛成と投票をしてください」

だが、今回も20代の若い層の投票率は低迷した。「年配者より若者に賛成の割合が多いので、期待していた。しかし、そこが伸びなかったのが敗因の一つかもしれない」（大阪維新の市議）

一方、自民党と国政で連立を組む公明党の大阪府本部は今回、維新と組んで賛成に回り、ねじれ現象が起こった。

前回、2015年の住民投票で反対にまわった公明党が今回、賛成にまわったことで、可決の公算が大という見方もあった。公明党は、10月18日は公明党の山口那津男代表が、大阪入り。大阪維新の会の松井代表、大阪府知事の吉村洋文代表代行らとマイクを握り「賛成」を訴えた。公明党の国会議員はこう話す。「表向きは大阪の公明党支援のために山口代表は現地に入った形になっている。だが、国政は自公でやっているのだから、菅首相と調整しています。10月下旬の調査で維新の劣勢が明らかになると、創価学会を動員し、賛成票を集めるべく各支部に指示を出してテコ入れをしたんだが…」

待っていたのは、敗北という結果に…。敗因をこう分析した。

「正直、大阪の動向を読み違えていた。当初、大阪の公明党支持者の7割が前回同様に大阪都構想には反対と言っていた。山口代表が大阪に乗り込み、5割から6割は賛成にまわってくれたはず。だが、そうは言っても、投票に行かずに寝てしまった人がかなりいたようだ」（前出の公明党議員）

自民党内では維新を「隠れ菅派」と揶揄する声もあった。「安倍前首相は大阪都構想に反対と言ってくれた。菅首相はノーともイエスとも何も言わない。本音では維新支持がにじみ出ている。逆に中央がそうなら大阪は負けないと一致結束した。その思いが通じて、勝利となったように思う」（大阪選出の自民党の国会議員）

菅首相と気脈の通じる維新の松井代表は大阪都構想の否決となった場合、政界引退を公言していた。今後、大阪維新の会、日本維新の会の党運営は、吉村氏を中心となっていくとみられる。「菅首相はいずれ橋下氏を大臣にし、勢い増す維新に公明党という自公維で政権運営を担うという思惑があったはず。住民投票の中盤あたりまでは、圧勝ムードただけに敗戦はショックだろう。逆に二階幹事長は近畿地方に派閥議員も複数いるので、大阪都構想にはもともと反対だった。維新の敗北は菅首相の今後の政権運営にとって大きな痛手となる。二階幹事長に屈せざるを得ず、党高政低に拍車がかかるでしょう」（前出・自民党幹部）菅首相が失った「維新カード」は今後の政局にどう影響を与えるのか？（今西憲之）※週刊朝日オンライン限定記事

大阪都構想、反対多数 大阪市存続へ

朝日新聞デジタル 11/1(日) 22:45 配信



大阪市役所=大阪市北区

大阪市を廃止して四つの特別区に再編する大阪都構想の是非を問う住民投票が1日行われ、僅差（きんさ）での反対多数が確定となった。前回2015年に続く否決。大阪維新の会代表の松井一郎市長は23年4月の任期満了で政界を引退すると表明した。当日有権者数は220万5730人、投票率は前回は4・48ポイント下回る62・35%だった。【ノーカット動画】結果を受け、松井市長や吉村知事らが会見。吉村知事は「僕が都構想に挑戦することはない」と述べた。松井氏は1日夜に記者会見し「けじめをつけなければならない」と政界を引退する考えを示した。吉村洋文代表代行（府知事）は「僕が都構想に挑戦することはない」と述べた。維新は党のリーダーと看板政策の都構想を同時に失った。松井氏は菅義偉首相との関係が良好で、代表を務める国政政党・日本維新の会は政権に協力的な姿勢もとってきた。今回の結果が国政にも影響を及ぼす可能性がある。住民投票では、人口約270万人の大阪市を約60万～75万人の四つの特別区に再編する制度案への賛否が問われた。大阪市が持つ都市開発やインフラ整備などの権限を大阪府に一元化し、特別区は教育や子育て支援など身近な住民サービスにあたる構想。今回の否決で都構想は廃案となり、大阪市は存続する。反対派の自民党と共産党などは、特別区の財政収支見通しに新型コロナウイルスの経済への影響が反映されていないことなどを問題視。特別区が収支不足に陥り、

住民サービスが低下する恐れがあるとして、政令指定市としての大阪市の存続を訴えた。賛成派の維新と公明党は、府と市の権限が重なり合う「二重行政」の解消が経済成長につながり、特別区への再編で住民サービスも充実できると訴えてきた。都構想の是非を問う住民投票は2度目。前回は反対70万5585票、賛成69万4844票の約1万票の僅差で否決され、当時の維新代表で大阪市長だった橋下徹氏が政界を引退した。前回と異なり、公明党が賛成に転じて山口那津男代表が大阪入りして維新と街頭演説に立つなどテコ入れを図ったが、改めての否決となった。

大阪都構想、再び否決 維新は看板政策失う 大阪市存続、松井市長政界引退へ

毎日新聞 2020年11月1日 23時23分(最終更新 11月2日 00時24分)



大阪都構想の賛否を問う住民投票で反対多数が確定となり、記者会見の冒頭に頭を下げる大阪維新の会代表の松井一郎大阪市長＝大阪市北区で2020年11月1日午後11時1分、木葉健二撮影

政令指定都市の大阪市を廃止し、四つの特別区に再編する「大阪都構想」への賛否を問う住民投票が1日投開票され、小差で反対が賛成を上回った。地域政党「大阪維新の会」が2010年の結党時から掲げてきた構想の制度案は廃案となり、大阪市の存続が決まった。15年の住民投票に続く2度目の否決で、維新代表の松井一郎大阪市長は23年4月の市長任期満了での政界引退を表明した。

当日有権者数は220万5730人で、投票率は62・35%（前回66・83%）だった。午後9時から始まった開票作業は最終盤まで賛否が伯仲する展開だった。



大阪都構想の賛否を問う住民投票で反対多数が確定となり、記者会見に臨む大阪維新の会代表の松井一郎大阪市長＝大阪市北区で2020年11月1日午後11時1分、木葉健二撮影

維新は大勢が判明した1日深夜、大阪市北区のホテルで公明党と共同で記者会見した。松井市長は「私の力不足で2度目の敗北になった。政治家としてのけじめをつけられない」と引退を明言した。維新の今後については「改革スピリッツを持った集団であってほしい」と語った。会見に同席した維新代表代行の吉村洋文・大阪府知事は都構想に再挑戦しないことを断言した。

公明府本部代表の佐藤茂樹衆院議員は「短時間で支持者に理解を得ることができなかった」と述べた。

今回の住民投票は新型コロナウイルスの感染拡大が収まらないうちで実施された。市の廃止後の住民サービス水準、再編後の財政見通し、成長戦略への効果などが争点になった。維新はコロナ対策で知名度を上げた吉村知事を前面に出す戦略で、テレビCMなども含めた広報も充実させたが、反対派が追いついて拮抗（きっこう）。終盤は感染防止策で控えてきた屋内の集会も解禁した。

反対してきた自民党は府議団の一部が制度案に賛成するなど混乱もあったが、市議団を中心に「正しく知ればノーになる」と制度の問題点や財政面の懸念を訴え続けた。昨年春の知事・市長のダブル選で維新が圧勝して公明が賛成に転じ、都構想の成立は濃厚とみられたが、コロナ禍の状況での住民投票や、メリット一色の制度案の説明に疑問を持つ人も増え、最終的に反対が上回った。

住民投票は12年に超党派の議員立法で成立した大都市地域特別区設置法に基づくものだ。15年には特別区を5区とする案が、賛成69万、反対70万票で否決されたが、昨年のダブル選を経て2度目の住民投票が実現した。否決により、維新は看板政策を失う形になる。国政政党「日本維新の会」の政治的基盤にも影響を与えそうだ。

都構想は、275万人の大阪市を人口60万～75万人で中核市並みの権限を持つ各特別区に再編。教育や福祉など身近な住民サービスを担い、成長戦略やインフラ整備などの広域行政は府に一元化する内容だった。【津久井達】

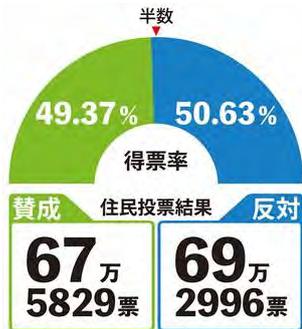
大阪都構想、再び否決 維新は看板政策失う 大阪市存続、松井市長政界引退へ

毎日新聞 2020年11月1日 23時23分(最終更新 11月2日 01時39分)



大阪都構想の賛否を問う住民投票で反対多数が確定となり、記者会見の冒頭に頭を下げる大阪維新の会代表の松井一郎大阪市長＝大阪市北区で2020年11月1日午後11時1分、木葉健二撮影

政令指定都市の大阪市を廃止し、四つの特別区に再編する「大阪都構想」への賛否を問う住民投票が1日投票され、約1万7000票差で反対が賛成を上回った。地域政党「大阪維新の会」が2010年の結党時から掲げてきた構想の制度案は廃案となり、大阪市の存続が決まった。15年の住民投票に続く2度目の否決で、維新代表の松井一郎大阪市長は23年4月の市長任期満了での政界引退を表明した。



2020年の大阪都構想の投票結果

当日有権者数は220万5730人で、投票率は62・35%（前回66・83%）だった。午後9時から始まった開票作業は最終盤まで賛否が伯仲する展開だった。



大阪都構想の賛否を問う住民投票で反対多数が確定と

なり、記者会見に臨む大阪維新の会代表の松井一郎大阪市長＝大阪市北区で2020年11月1日午後11時1分、木葉健二撮影

維新は大勢が判明した1日深夜、大阪市北区のホテルで公明党と共同で記者会見した。松井市長は「私の力不足で2度目の敗北になった。政治家としてのけじめをつけたいといけない」と引退を明言した。維新の今後については「改革スピリッツを持った集団であってほしい」と語った。会見に同席した維新代表代行の吉村洋文・大阪府知事は都構想に再挑戦しないことを断言した。

公明府本部代表の佐藤茂樹衆院議員は「短時間で支持者に理解を得ることができなかった」と述べた。

今回の住民投票は新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中で実施された。市の廃止後の住民サービス水準、再編後の財政見通し、成長戦略への効果などが争点になった。維新はコロナ対策で知名度を上げた吉村知事を前面に出す戦略で、テレビCMなども含めた広報も充実させたが、反対派が追い上げて拮抗（きっこう）。終盤は感染防止策で控えてきた屋内の集会も解禁した。反対してきた自民党は府議団の一部が制度案に賛成するなど混乱もあったが、市議団を中心に「正しく知ればノーになる」と制度の問題点や財政面の懸念を訴え続けた。昨年春の知事・市長のダブル選で維新が圧勝して公明が賛成に転じ、都構想の成立は濃厚とみられたが、コロナ禍の状況での住民投票や、メリット一色の制度案の説明に疑問を持つ人も増え、最終的に反対が上回った。

住民投票は12年に超党派の議員立法で成立した大都市地域特別区設置法に基づくものだ。15年には特別区を5区とする案が、賛成69万、反対70万票で否決されたが、昨年のダブル選を経て2度目の住民投票が実現した。否決により、維新は看板政策を失う形になる。国政政党「日本維新の会」の政治的基盤にも影響を与えそうだ。

都構想は、275万人の大阪市を人口60万～75万人で中核市並みの権限を持つ各特別区に再編。教育や福祉など身近な住民サービスを担い、成長戦略やインフラ整備などの広域行政は府に一元化する内容だった。【津久井達】

大阪都構想 公明支持層で賛否伯仲 無党派層は6割「反対」 出口調査

毎日新聞 2020年11月1日 21時03分(最終更新 11月1日 21時03分)

支持政党と賛否	賛成	反対
維新	88%	12%
公明	48	52
自民	36	64
共産	6	94
立憲	20	80
支持政党なし	40	60

投票で最も重視した点

1. 行政の無駄が解消されるかどうか
2. 大阪維新の会の看板政策を進めるかどうか
3. 思い切った改革が必要かどうか
4. 住民サービスが良くなるか悪くなるか
5. 大阪都構想のメリットが明らかかどうか



※無回答は省いた。小数点以下を四捨五入

大阪市を廃止し四つの特別区に再編する「大阪都構想」の賛否を問う住民投票で、毎日新聞社は1日、投票を終えた有権者への出口調査を実施し、投票行動を分析した。支持政党別では、2019年4月の統一地方選の結果を機に反対から賛成に転じた公明の支持層は賛否が伯仲。無党派層は6割が反対した。

支持政党は自民25%、維新22%、公明4%、共産4%、立憲民主2%、支持政党なし37%だった。

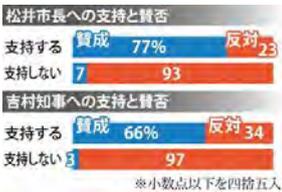
「都構想」が党是の維新の支持層は9割が賛成した。一方、自民支持層の6割強、公明支持層の約5割が反対。反対は共産支持層で9割強、立憲支持層は8割を占めた。前回(15年5月)の出口調査と比較すると、無党派層の反対は5割弱から増え、自民支持層の反対も数ポイント増えた。

前回の住民投票後、16年に選挙権年齢が引き下げられ、今回は02年9月2日生まれまでの18歳以上が投票したが、10代は賛成が若干上回った。

年代別では、20代と50代は賛否がほぼ半々。30代と40代は賛成が数ポイント上回った。60代では反対が上回り、70代以上は6割超が反対した。

投票にあたって何を最も重視したかを尋ねたところ、全体では「行政の無駄が解消されるかどうか」が29%と最多だった。「大阪都構想のメリットが明らかかどうか」と「住民サービスが良くなるか悪くなるか」が共に22%で、「思い切った改革が必要かどうか」13%——と続いた。「大阪維新の会の看板政策を進めるかどうか」は5%で、多くの有権者は維新の政策の評価と都構想の是非は切り分けて判断したといえそうだ。

賛否別にみると、「行政の無駄が解消されるかどうか」は賛成に投じた有権者の5割弱が重視したが、反対した有権者は1割にとどまった。反対派は代わりに「住民サービス」や「大阪都構想のメリット」を、それぞれ3割強が重視した。



松井一郎市長を支持する人は55%のうち8割弱が賛成、吉村洋文知事を支持する人は69%のうち6割以上が賛成した。

男女別でみると、女性の方が反対する割合が高かった。調査は市内64カ所の投票所で、共同通信社、産経新聞社、日本経済新聞社、毎日放送、関西テレビ放送と共に実施し、2816人から回答を得た。データを共有し、各社が分析・記事化した。【上野宏人】

「大阪都構想」住民投票で再び「反対」…松井・大阪市長、任期満了で政界引退

読売新聞 2020/11/02 00:03

大阪市を廃止し、4特別区を新設する「大阪都構想」の賛否を問う住民投票が1日、投票開票され、僅差で反対が賛成を上回った。2015年5月の前回住民投票に続いて都構想の制度案は廃案となり、大阪市の存続が決まった。都構想を推進してきた日本維新の会の松井一郎代表(大阪市長)は反対多数を受け、23年4月の市長任期満了をもって政界を引退すると表明した。



大阪都構想住民投票が反対多数確定となり記者会見する松井一郎大阪市長(右)と吉村洋文大阪府知事(1日夜、大阪市北区で)＝里見研撮影

住民投票は、都構想実現への手続きを定めた「大都市地域特別区設置法」(大都市法)に基づき、大阪市民を対象に実施された。人口約270万人の大阪市を約60万～75万人の「淀川」「北」「中央」「天王寺」の4特別区に分割する制度案への賛否が問われた。

当日有権者数は220万5730人。投票率は62・35%で、前回の住民投票(66・83%)から4・48ポイント下がった。

都構想は、地域政党・大阪維新の会を創設した橋下徹氏が大阪府知事だった10年、大阪市との二重行政の解消を目的に提唱した。5年前の住民投票では、市を5特別区に再編する案が反対70万5585票、賛成69万4844票の僅差で否決され、橋下氏の政界引退につながった。

その後、維新は都構想の再挑戦を掲げ、松井氏と吉村洋文代表代行(大阪府知事)が昨年4月の知事・大阪市長のダブル選に圧勝するなどして、2度目の住民投票にこぎ着けた。

前回の住民投票では、維新以外の全ての党が反対に回ったが、今回は公明党が賛成に転じて維新と連携した。これに対し、自民、立憲民主、共産などの各党が反対する構図となった。

賛成派は、都構想の実現を見据えて府・市の類似施設を統合し、コスト削減を進めたことを成果として訴えた。新型コロナウイルス対策も府・市協調で進めたことをアピールし、「大阪の司令塔を一つにして、政策決定のスピードを上げる」と主張した。

反対派は、「大阪府が特別区に分割されればコストが余計にかかり、住民サービスが低下する」とデメリットを強調し、「大阪市解体」に強い不安を持つ市民の支持を集めた。

◆大阪都構想＝東京都と23特別区の間をモデルにした都市再編案。大阪府と大阪市の役割分担を見直し、大阪市の持つ都市開発や産業政策など、広域的な権限を大阪府に一元化する。福祉、教育など住民に身近なサービスは、大阪市を解体して設置する特別区が担う。特別区には公選の区長、区議会を置く。

「大阪都構想」自民支持層は賛成41%、公明は賛否拮抗…無党派層は反対60%

読売新聞 2020/11/01 22:11

読売新聞は読売テレビと共同で1日、「大阪都構想」に関する賛否について出口調査を行った。都構想に賛成する公明党、反対する自民党それぞれの支持層の間では賛否の判断が割れたことが浮かび上がった。



主な支持政党別でみると、都構想を推進してきた日本維新の会の支持層は90%が賛成した。前回の住民投票では、当時の橋下徹大阪市長の人気も追い風に支持層の94%をまとめたが、今回

は10%が反対に回った。

一方、立憲民主党は87%、共産党は94%が反対した。国政の野党勢力は手堅く反対票をまとめた格好だ。

これに対し、自民の支持層は賛成41%、反対59%と割れた。もともと大阪では、「国政は自民、大阪では維新」という層が一定存在するのに加え、大阪府連内部でも一部議員が賛成論を唱えるなど一枚岩になれなかった。菅首相が維新の松井代表と近い関係であることも影響したとみられる。

賛否が真っ二つに割れたのが公明だ。前回の住民投票は反対の立場で臨んだが、今回は一転、賛成を表明。山口代表が大阪入りするなどテコ入れを図ったものの、賛成52%、反対48%ときっこう

拮抗した。これまで強硬な反対論を展開してきた経緯があるだけに、方針転換への戸惑いもあったとみられる。

無党派層では、反対が60%で、賛成の40%を大きく上回った。

調査は市内24区の投票所計144か所で行い、投票を終えた有権者4682人から回答を得た。

都構想否決、維新に打撃 松井氏「全ては私の力不足」

2020/11/2 2:00 情報元日本経済新聞 電子版

大阪都構想の否決は日本維新の会にとって大きな打撃となる。今後1年以内には次期衆院選がある。維新がめざす党勢拡大は最重要政策である都構想の否決でブレーキがかかる恐れがある。



住民投票の反対多数が確実となり、記者会見する維新の松井代表（1日、大阪市北区）

維新の松井一郎代表（大阪市長）は1日深夜、住民投票の結果を受けて記者会見し、2023年4月までの市長任期満了で政界を引退する意向を表明した。「政治家としてのけじめをつけなければならない。あとは次の世代にがんばってもらいたい」と話した。

「2度目の敗北は全て私の力不足」と敗戦の弁を語った。維新の代表を退く時期に関して「今後話し合いたい」と述べるにとどめた。

維新にとって悲願である都構想に2度目の「ノー」が突きつけられたことで、党勢縮小は避けられそうにない。5年前の住民投票が否決された時も、当時の橋下徹代表が政界を引退した。維新は再び司令塔を失う。

維新副代表の吉村洋文府知事は記者会見で「都構想は間違っていたんだろうと思う。僕自身は大阪都構想に挑戦することはない」と言明し、3度目の挑戦の可能性を否定した。

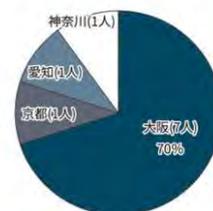
日本維新の会の歩み		(注) 開書は当時
2010年4月	橋下徹大阪府知事が地域政党「大阪維新の会」を結党	
11年11月	大阪府知事・市長選で松井一郎氏、橋下氏が当選	
12年9月	民主党などから離党した国会議員を加えて「日本維新の会」設立	
12月	衆院選で54議席を獲得し、第3党に躍進	
14年9月	結いの党と合流し「維新の党」に	
15年5月	大阪都構想を巡る住民投票が否決。橋下氏が政界引退表明	
11月	維新の党が分裂。片山虎之助氏らが「おおさか維新の会」結党	
16年8月	参院選後に「日本維新の会」に党名変更	
17年10月	衆院選で希望の党と連携も11議席にとどまる	
19年4月	大阪府知事・市長選で吉村洋文氏、松井氏が当選	
20年11月	2度目の住民投票	

維新を巡る最近の情勢をみると追い風が吹いていた。昨年4月

の大阪府知事・市長のダブル選挙は吉村知事と松井市長が大勝した。

新型コロナウイルスの感染拡大後は連日テレビで吉村氏の記者会見の様子などが報じられ、知名度が全国的に上がった。与野党ともに「都構想が可決なら維新はさらに勢いを増す」とみている。維新の馬場伸幸幹事長は10月21日の記者会見で、次期衆院選で70人程度の候補者を擁立する考えを示した。17年の前回衆院選より3割多く、関西圏だけでなく東京など首都圏でも積極擁立し、全国区政党へ脱皮する機会を模索していた。こうした戦略の見直しを求められる可能性がある。

衆院では大阪退出の議員が7割 (全10人)



馬場氏は1日深夜、記者団に「党勢には今日の結果自体はプラスということはないだろうが、マイナスとは思わない」との認識を示した。

大阪都構想再び反対 菅首相の政権運営にも影響

産経新聞 2020. 11. 1 23:57

大阪都構想をめぐる住民投票が反対多数となったことは、日本維新の会と良好な関係を保つ菅義偉首相の政権運営に影響を及ぼしそうだ。全国に勢力を広げたい維新の戦略にも水を差した。地元で維新と対峙する自民党大阪府連には次期衆院選に向けて追い風となったが、賛成に回った公明党との溝は深まるなど、各党の選挙戦略にも複雑な影響を与えるとみられる。

首相は1日夜、今回の結果について、周囲に「国政ではない」と語り、政権運営への影響を否定した。

しかし、地域政党「大阪維新の会」と国政政党の維新双方で代表を務める松井一郎大阪市長は令和5年春の任期満了をもって政界引退すると表明し、松井氏に近い首相には痛手だ。国政で維新が勢いを失えば、憲法改正や重要政策での共闘も効果が限られ、政権運営上のメリットは薄れる。

ただ、自民府連は結果に安堵している。自民は前回平成29年衆院選で、大阪の全19選挙区のうち10勝したが、うち7選挙区では維新候補に差を1万票以内に詰められた。「可決なら維新の勢いが増す」（幹部）のは必至だったからだ。

自民の中山泰秀防衛副大臣＝衆院大阪4区＝は今夜、産経新聞の取材に「多くの大阪市民が訴えに耳を傾けてくれた」と語った上で、松井氏に「潔く市長を辞すべきだ」と迫った。

一方、公明党には厳しい結果となった。今回賛成に回ったのは、次期衆院選で府内4選挙区に候補を立てるため「大阪で維新と争いたくない」（公明関係者）との本音があったからだ。

先月18日には山口那津男代表が大阪に入り、松井氏と街頭で賛成を訴えた。当初は「ローカルの話」（幹部）と静観していた山口氏が乗り込んでも結果につながらなかったことで、「党へのダメージは大きい」（中堅）との声も上がる。

公明幹部は「住民投票と国政は別物」と強弁するが、自民との今後の選挙協力全般に影は落とした。

今回の結果は、全国展開を目指す維新にも厳しいものとなった。維新は次期衆院選で全国289選挙区のうち、70程度に独自候補の擁立を検討しているが、戦略にも暗雲が広がった。

立憲民主党と共産党は、一致して反対したことを弾みに、次期衆院選での候補者調整を進める構えだ。共産の小池晃書記局長は「次期衆院選では菅内閣の補完勢力である維新を少数に追い込む」と意気込んだ。

「大阪市残して」感じた 勝利の反対派、安堵と喜び

東京新聞 2020年11月2日 00時30分 (共同通信)

「大阪市を残した形で、元気な大阪にしてほしい」という市民の気持ちを感じた。大激戦の末、「大阪都構想」の再度の否決が決まった1日夜、反対派の自民党や共産党の地元組織の幹部らは、安堵や喜びの表情を浮かべ、訴え続けた大阪市存続の達成に万感の思いを述べた。

午後11時すぎ、同市中央区の自民党大阪府連本部では、府連会長の大家高司衆院議員や、同党市議団の北野妙子幹事長らが記者会見。大家会長は冒頭、「まずは率直に廃止を阻止できて安堵している」とコメント。「賛成、反対で市民が分断されたと思うが、それを一つに戻すため鋭意努力を続けたい」と語った。

しんぶん赤旗 2020年11月2日(月)

大阪市廃止 再び否決 住民投票 市民の良識、維新野望砕く

大阪市を廃止することの是非を問う住民投票が1日行われ、開票の結果「反対」多数となり、大阪市の存続が決まり、制度案は廃案となりました。130年の歴史をもつ大阪府をつぶし、権限も財源も「都(府)」に吸い上げ、「1人の指揮官(知事)」のやりたい放題の体制をつくろうとする大阪維新の会(代表・松井一郎大阪市長)の野望を市民の良識が打ち砕きました。投票率は62.35%(前回66.83%)。



(写真)「反対」多数の

報道に喜びを爆発させる市民＝1日、大阪市

大阪市を廃止・分割する「大阪都」構想の制度案否決は、2015年5月の住民投票に続いて2度目。維新は前回反対だった公明党を抱き込み、2度目の住民投票に持ち込みましたが、制度案は特別区の数をつつから四つに変えたぐらいで骨格は同じ。住民サービスも特別区設置の2025年1月1日時点では「維持する」が、それ以降は維持するよう「努める」という努力義務にしかなかった。

日本共産党も加わる「大阪市をよくする会」と「明るい民主大阪府政をつくる会」は、特別区になれば毎年約200億円の財源不足になり、特別区設置コストが15年間で1300億円もかかることなどを挙げ、住民サービスの低下は避けられないと指摘。「大阪市を残してこそ、命と暮らしを守るまにすることができ

る」と訴えました。

一方、大阪維新の会は1日も「『都構想で住民サービス低下』はすべてデマです」とのビラを配布。松井一郎代表(大阪市長)らがマイクを握った街頭説明会では「大阪を衰退させたのは共産党(維新府議)などのデマ攻撃までして大阪市解体に異常な執念をみせましたが、市民の良識の前には通用しませんでした。

しんぶん赤旗 2020年11月2日(月)

大阪市廃止 再び否決 住民投票 あすの大阪つくる希望に二つの会と共産党が会見

「やった」「あすの希望につながる」。午後10時44分に「反対多数確実」の速報が流れると、拍手が沸き起こり抱き合っただけで喜びあふ、泣き崩れる姿もありました。「明るい民主大阪府政をつくる会」の荒田功事務局長と「大阪市をよくする会」の福井朗事務局長、日本共産党の柳利昭府委員長、山中智子市議団長は、大勢判明後、大阪市内で記者会見しました。



(写真) 会見する

(前列左から) 福井、荒田、山中、柳の各氏＝1日、大阪市北区
荒田氏は「大阪市を愛するたくさんの方々の思いが今日こうして一つの結果を生んだことは、あすの大阪をつくっていく大きな希望につながっていく」とのべ、柳氏は「大阪市を守り生かそうと市民の良識が発揮されたもので、賛成に投票された方も大阪市をよりよくしたいという思いは共通。政令市の力を生かして市民の命、暮らしと営業を守るためにすべてのみなさんと力を合わせていきたい」と強調しました。

山中氏は「これでノーサイド(終了)にして、制度いじりではなく、当たり前前の自治体に戻しながら、政令市を残してよかったと思っただけのよう市民と一緒に市政をすすめていきたい」と涙ぐみながら語りました。

「大阪都構想」住民投票 反対多数 与野党などの反応

NHK 2020年11月2日 0時43分



「大阪都構想」住民投票が反対多数となったことについて、与野党などの反応です。

自民党の森山国会対策委員長は、NHKの取材に対し、「大阪市がなくなった場合、どのような自治体の形になるのか、住民の皆さんが想像しにくかったことが要因ではないか。菅政権や国政への影響はないと思う」と述べました。

続きを読む

自民党の野田聖子・幹事長代行は、NHKの取材に対し、「コロナ禍の住民投票となり、市民の中では都構想への優先順位が低かつ

たのではないかと、『自民党がよかった』ということではない。国政は国政で、新型コロナウイルス対策や経済全体の立て直しという課題を抱えており、それらに重点を置きながら、衆議院選挙に臨まなければならない」と述べました。

公明党の斉藤副代表は、NHKの取材に対し、「大阪市という歴史ある街への愛着がこうした結果につながったと感じている。党の考えが浸透しきらず、厳しい結果となったので、要因を分析したい」と述べました。

一方、国政への影響については、「個別のテーマに対する判断が、自民・公明両党の間で分かれたただけであり、影響は及ばない」と述べました。

立憲民主党の枝野代表は、訪問先の札幌市で記者団に対し、「大阪市民の意思を重く受け止めたい。『大阪都構想』については、過去にも反対の結果が出たにもかかわらず、この『コロナ禍』に、2度目の住民投票の手続きがとられたことに対しては、厳しい指摘をせざるをえない。いずれにせよ地域の問題なので、党の大阪府連が適切に対応する」と述べました。

共産党の小池書記局長は、NHKの取材に対し、「大阪市民が良識ある審判を下したことに敬意を表したい。日本維新の会は、2回にわたって反対多数となった結果を受け止め、『大阪都構想』を完全に断念すべきだ。今後、国政への影響がどの程度あるのか、見極めていきたい」と述べました。

国民民主党の玉木代表は、NHKの取材に対し、「大阪市民が示した民意であり、この結果を受け止め、尊重したい。今後の国政や衆議院選挙に与える影響を見極めていきたい」と述べました。

武田総務大臣は、「特別区設置の成否については、法令の手続きに従って、地域の判断に委ねられているものであり、今回の住民投票により反対が過半数を占めたことは、大阪市を廃止して特別区を設置することに反対する大阪市民の民意が示されたものと認識している」とするコメントを発表しました。

「大阪都構想」住民投票 反対多数 いまの大阪市が存続に

NHK2020年11月2日 1時17分



大阪市を廃止して4つの特別区に再編するいわゆる「大阪都構想」の賛否を問う住民投票は、「反対」が多数となりました。これにより、いまの大阪市が今後も存続することになりました。結果を受けて日本維新の会と大阪維新の会の代表を務める大阪市の松井市長は、市長の任期は全うした上で、政界を引退する意向を表明しました。

続きを読む

大阪都構想の賛否を問う住民投票、開票は終了しました。

▽「反対」69万2996票。

▽「賛成」67万5829票。

「反対」が多数となりました。

今回の住民投票では、大阪市の有権者、220万人あまりを対象に、5年後、令和7年の1月1日に政令指定都市の大阪市を廃止して4つの特別区に再編することの賛否が問われました。

先月12日の告示以降、賛成派の大阪維新の会と公明党は、「大阪市を廃止して、府と市の二重行政を解消し、大阪全体の成長につながるべきだ」と訴えました。

一方、反対派の自民党や共産党などは、「大阪市をなくせば、大阪の都市力や、住民サービスの低下につながる」と主張し、激しい論戦が繰り広げられました。

その結果、「都構想」への賛同は、大阪維新の会の支持層以外には大きく広がらず、「反対」が多数となりました。

これにより、「大阪都構想」は実現には至らず、いまの大阪市が今後も存続することになりました。

結果を受けて日本維新の会と大阪維新の会の代表を務める大阪市の松井市長は、記者会見し、「大阪維新の会の先頭で旗を振ってきた。僕自身、政治家としてけじめはつけなければならない」と述べ、令和5年4月までの任期を全うした上で、次の市長選挙には立候補せず、政界を引退する意向を表明しました。

「大阪都構想」住民投票 開票進む 賛否きつ抗で終盤に

NHK2020年11月1日 21時59分



政令指定都市の大阪市を廃止して4つの特別区に再編する、いわゆる「大阪都構想」の賛否を問う住民投票は、午後9時から開票作業が行われています。

大阪市の有権者、220万人あまりを対象に、5年後、令和7年の1月1日に政令指定都市の大阪市を廃止して4つの特別区に再編することの賛否が問われた住民投票は、午後9時から、市内24か所で開票作業が行われています。

投票日当日の出口調査の結果はNEW

NHKは、有権者の投票行動や政治意識を探るため、投票日の1日、大阪市内の40か所の投票所で、投票を終えた有権者5289人を対象に出口調査を行い、63.6%にあたる3362人から回答を得ました。

男女別は



男女別に、「賛成」と「反対」、どちらに投票したかを見えます。男性では、50%台前半の人が賛成に、40%台後半の人が反対に投票したと答えました。

一方、女性は、40%台半ばの人が賛成に、50%台半ばの人が反対に投票したと答えています。

年齢別は



年代別に「賛成」と「反対」、どちらに投票したと答えたかを見えます。

▼10代と20代は「賛成」と「反対」が並んでいます。

▼30代は「賛成」がおおよそ60%、「反対」がおおよそ40%となっています。

▼40代は、「賛成」が50%台半ば、「反対」が40%台半ばとなっています。

▼50代は、「賛成」と「反対」がきつ抗しています。

▼60代と70歳以上は、それぞれ「賛成」が40%台前半、「反対」が50%台後半となっています。

支持政党別は



投票した人に、ふだん支持している政党を尋ねました。

「大阪維新の会・日本維新の会」が最も多く27%。

次いで「自民党」が25%、「公明党」が6%、「共産党」が5%などとなっています。特に支持している政党はない、いわゆる無党派層は31%でした。

このうち、「大阪維新の会・日本維新の会」の支持層は、おおよそ90%の人が「賛成」に投票したと答えました。

今回、賛成派となった「公明党」の支持層は、「反対」と「賛成」がほぼ並んでいます。

前回に続いて反対派となった、「自民党」の支持層は、60%台前半が「反対」に投票し、

30%台後半が「賛成」に投票したと答えました。

同じく前回に続いて反対派となった「共産党」の支持層は、90%台半ばが「反対」に投票したと答えました。

特に支持している政党はない、いわゆる無党派層は、「反対」が60%台前半、「賛成」が30%台後半でした。

都構想住民投票反対賛成ほぼ並ぶ

NHK 関西 NEWS WEB 11月01日 20時31分

政令指定都市の大阪市を廃止して4つの特別区に再編する、いわゆる「大阪都構想」の賛否を問う住民投票は、1日午後9時から開票が始まります。

NHKが、投票を済ませた有権者を対象に行った出口調査によりますと、「反対」と「賛成」がほぼ並んでいます。

5年後、令和7年の1月1日に政令指定都市の大阪市を廃止し、「淀川区」「北区」「中央区」「天王寺区」の4つの特別区に再編する、いわゆる「大阪都構想」の賛否を問う住民投票は、1日午後8時に投票が締め切れ、9時から開票が始まります。

NHKは、大阪市内の40か所の投票所で投票を終えた有権者、5289人を対象に出口調査を行い、63.6%にあたる3362人から回答を得ました。

それによりますと、「反対」と「賛成」がほぼ並んでいます。

また、10月31日までに期日前投票をした人を対象に行った出口調査でも「反対」と「賛成」がほぼ並んでいます。

1日行った出口調査を詳しく見てみます。

投票した人の支持政党を見ますと、▼「大阪維新の会・日本維新の会」がもっとも多く27%、次いで、▼「自民党」が25%、▼「公明党」が6%、▼「共産党」が5%などとなっています。▼特に支持している政党はない、いわゆる無党派層は31%でした。

次に、支持政党別に「賛成」、「反対」のどちらに投票したかを見えます。

▼都構想を推進する「大阪維新の会・日本維新の会」の支持層は、おおよそ90%が「賛成」に投票したと答えました。

一方、▼今回、賛成に回った公明党の支持層は、「反対」と「賛成」がほぼ並んでいます。

▼前回に続いて反対した「自民党」の支持層は、60%台前半が「反対」、30%台後半が「賛成」に投票したと答えました。

▼同じく前回に続いて反対した共産党の支持層は、90%台半ばが「反対」でした。

▼特に支持している政党はない、いわゆる無党派層は、「反対」が60%台前半、「賛成」が30%台後半でした。

大阪市選挙管理委員会によりますと、午後7時現在の投票率は40.34%で、5年前に行われた前回の住民投票より5.07ポイント低くなっています。

また、10月31日までに、有権者のおおよそ19%にあたる41万8925人が期日前投票を済ませています。

今回の住民投票の結果は、投票率にかかわらず法的拘束力を持ち、賛成が反対を上回れば、いまの大阪市の廃止と特別区の設置が決まります。

一方、反対が賛成を上回るか同数ならば、大阪市が存続することになります。

【維新幹部 “手応えの割に伸びず”】。

日本維新の会の幹部は、午後8時すぎ、NHKの取材に対し、出口調査で接戦が伝えられていることについて、「活動での手応えの割に数字が伸びていないという印象だ」と述べました。

【自民府議団幹部 “街頭の感触よかった”】。

自民党大阪府議団の幹部はNHKの取材に対し、「前回、5年前に比べると街頭での活動も感触はよかった。あとは、結果を祈るだけだ」と述べました。

【自民市議団 北野幹事長 “生きた心地しない”】。

都構想に反対する自民党大阪市議団の北野妙子幹事長は、午後8時半ごろ、NHKの取材に対して、「まだ生きた心地がしません。どきどきしています。投票率は思ったより低いと感じました」と述べました。

住民投票 自民共産の反応

NHK 関西 11月01日 23時17分

【自民党市議団 北野幹事長 “3度目はない”】。

都構想に反対してきた自民党大阪市議団の北野妙子幹事長は、1日午後11時ごろから会見し、「このような形で否決されたことに心から感謝したい。ただ、市民の半数が賛成、市民の半数が反対と、前回と同様に僅差で決まった。このような事柄を選ぶ住民投票が5年のうちに2回もあることがあってはならないと感じる。3度目はもうあってはならないと思う」と述べました。

【共産党市議団 山中団長 “市民の良識に敬意”】。
共産党大阪市議団の山中智子団長は、「本当にものすごいピハインドからのスタートだったが、こういう答えを出してくれた市民のみなさんの見識、良識に敬意を表したい」と述べました。
そのうえで「市民のみなさんの命と暮らしのため教育や福祉を向上させ、コロナ対策にしっかり取り組み、当たり前前の自治体、普通の自治体に戻しながら、大阪市を残してよかったと思ってもらえるようなスタートを1日も早く切りたい」と述べました。

住民投票 各界反応

NHK 関西 11月02日 01時21分

【関西経連会長 “二重行政の解消を期待”】。

関西経済連合会の松本正義会長は、「長年の懸案についてひとまず決着をみたが、これまで大阪府と大阪市が進めてきた二重行政の解消、大阪の成長戦略については、今後もしっかりと取り組んでもらうよう期待する。また、2025年の大阪・関西万博の準備については、これまでどおり府市一体となって全力を挙げてほしい」とするコメントを発表しました。

【神戸市長 “大都市制度議論を”】。

大阪市と同じ政令指定都市である神戸市の久元喜造市長は、「大阪市民は大阪市の存続を求めたものと理解している。引き続き、大阪府と大阪市が関西の一体的な発展に貢献していただくことを期待している。大都市制度のあり方については、引き続き『特別自治市制度』の創設を含め、本格的に議論が進むことを期待したい」とするコメントを出しました。

【京都知事 “市民の選択”】。

京都府の西脇知事は「それぞれの地域に合わせていちばんよい制度を住民の判断により選択することが地方自治の原点であり、今回の結果は、まさに住民投票によって示された大阪市民の選択である。京都においては、今後とも、府市協調のもと、府民や市民の視点に立って、よりよい行政サービスの提供に努めてまいります」とするコメントを発表しました。

【京都市長 “選択された結果”】。

京都市の門川市長は、「大阪の方があるべき姿を考え抜き、選択された結果であると受け止めている。京都においては、府市協調のもと効率的・効果的な行政運営に努め、関西の発展に尽力していく」というコメントを発表しました。

住民投票 大阪市民の反応

NHK 関西 11月02日 00時30分

住民投票の結果を受けてJR大阪駅前で聞きました。

反対に投票した淀川区の50代の会社員の男性は「大阪市を切り刻みたくないと思っていたので、泣きたいぐらいうれしい。都構想には、単純に自治や金を失うデメリットしか感じていなかった。都構想以外の方法でも大阪は良くなると思います」と話していました。

また、反対に投票した住之江区に住む20代の会社員の女性は「新型コロナウイルス対策を頑張ってくれた吉村知事のイメージはよかったけど、生まれ育った住之江区が無くなるのは本当に嫌だったので良かったです」と話していました。

一方、賛成に投票した中央区の20代の男子大学生は、「維新か

らはとても大阪を良くしたいという熱意を感じていたし、僕たちの将来を考えたらこの結果は残念です。吉村知事を中心にこれからも改革に取り組んで、諦めずにもう1度、住民投票をやってほしいです」と話していました。

住民投票 公明の反応

NHK 関西 11月01日 23時22分

都構想に「賛成」の立場だった公明党大阪府本部の佐藤茂樹代表は、1日午後11時ごろから記者会見し、「反対多数という結果を厳粛に受け止めます。結果が出たので大阪市民の民意をしっかりと尊重し、どのようにすれば発展するか、ゼロベースでしっかりと検討していきたい」と述べました。

そのうえで「今回の選挙は、市民を分断する結果になったが、しこりを残さないよう、それぞれの意見ももう一度お聞きしながら、全体として大阪がしっかりと発展していくようこれからも頑張っていく」と述べました。

「市長の任期をもって政治家としての任期は終了」反対多数確実で維新・松井代表が会見

MBS 更新：2020/11/02 01:01

大阪市を廃止して4つの特別区に再編するいわゆる「大阪都構想」の賛否を問う住民投票が11月1日に行われ、反対が賛成を上回り、大阪市の存続することになりました。

大阪都構想の住民投票の開票率98.48%時点の得票数は、賛成が66万7425票・反対が68万898票と反対が賛成を上回り、政令指定都市の大阪市の存続が決まりました。

都構想を推進してきた大阪維新の会の松井一郎代表は11月1日夜の会見で、「民意をしっかりと受け止める」と述べました。

(大阪維新の会 松井一郎代表)

「やることやりました。まったく後悔もないし、自分ではこれ以上できない。心が晴れているというか、本当にそういう気持ちです。はじめはつけなければなりません。市長の任期をもって僕の政治家としての任期は終了といたします。」

一方で、反対を訴えてきた自民党は…

(自民党大阪市議団 北野妙子幹事長)

「住民投票が5年のうちに2回もあるというようなこと自体があってはならないことだというふうに感じております。今回2度目が行われましたけども、もう3度目はあってはならないという風に思っております。」

投票率は62.35%で、5年前の前回は44.48ポイント下回りました。

「大阪都構想」否決 政界の受け止めは…

NNN2020年11月2日 00:52

「大阪都構想」の賛否を問う住民投票が、反対多数で否決されたことについて、政界の受け止めです。

自民党幹部は、「これで維新の勢いは落ちてくるだろう。次の衆議院選挙では、大阪でやりやすくなる」との見方を示しました。一方で、憲法改正や国会運営で協力を得ていきたい維新の影響力低下を懸念する声も上がっています。

自民党関係者は、「大阪の自民党にとってはプラスだが、自民党

本部にとっては微妙な結果だ」と述べました。

また、自民党の閣僚経験者は、「維新と公明党との関係が強みの菅総理大臣にとっては痛い結果となった」と指摘しました。

これに対し立憲民主党幹部は、「大阪以外では、維新の勢いはなくなるので、立憲にとってはプラスだ」との考えを示しました。

読売テレビ 2020. 11. 02 01:06

「大阪都構想」否決 各陣営の反応

「大阪都構想」の賛否を問う住民投票は、反対多数で否決されました。各陣営の反応は次の通り。

松井市長「まず今回この住民投票に参加いただいた大阪市民のすべての皆さんに御礼を申し上げたい。誠にありがとうございました。これはまさに大阪市民の皆さんの民意です。この民意をしっかり受け止めまして、今後も大阪が是非よくなるように。今は僕も市長ですから大阪市の発展に全力を尽くしたい。敗因については僕の力不足です。力及ばずということです。これだけ大きな戦いを2度挑みました。その間、僕がずっと中心となってやってきたわけです。2度負けていますので、これは自分自身の政治家としての力不足に尽きる。僕自身、政治家としてははじめはつげなくてはなりません。市長の任期を持って政治家としての任期は終了といたします」

吉村知事「この大阪市民の皆さんの判断をぼくは政治家として率直に受け止めようと思っていますなので、僕自身が大阪都構想に挑戦することはもうありません」

自民党大阪市議団・北野妙子幹事長「この結果は市民の半数が賛成、市民の半数が反対ということで、前回と同様、僅差で決まったということにつきましては、やっぱりこのような事柄を選ぶ住民投票が5年のうちに2回もあること自体があってはならないことだと感じている。」「この10年間にわたって対立の構図を持ちながら進めてこられたことを、やはり話し合いによってこれから解決するべくしっかりやっていきたい。いったん今までの対立をおさめていただきたいと考えている」

この結果に大阪市民は一。

反対に投票「もし成立したらメリットが一切わからないのでメリットがわかるようにしたら賛成されたと思うが正直自分は反対派だったので納得の結果と思う」

反対に投票「都になって何が良いとかがあまりなかったので妥当と思う」

賛成に投票「僕は都構想賛成なので基本的は変わらないと何かがね変わらないと。ショックすごいショックですよ」

賛成に投票「うーん。やっぱり保守的な考えの人が多いのかなと思う。一度かえてみたらどうかという気はしてたが」